

# GOVERNOR'S

## MONTHLY LETTER

2014-2015 Rotary International District 2760

ガバナー月信

# 5

2015 May



しんよとぎょしんじ  
神輿渡御神事 (熱田神宮)

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。

### しんよとぎょしんじ 神輿渡御神事

王朝絵巻さながらに色とりどりの雅やかな装束を著けた奉仕者が神輿を中心に神宝を捧持し行列を整え、本宮から鎮皇門跡まで進み祭りをを行います。

ガバナーメッセージ	2	私の心に残るロータリー体験	14
環境保全週間	3	ロータリーデー	16
ガバナー活動報告	4	木曾御嶽噴火災害へのご協力のお願い	17
I M報告	7	ロータリーコーディネーターニュース	18
委員会報告	10	文庫通信	20
ハイライトよねやま	13	会員数及び出席報告	21







▲ RYLA 寸劇の写真

皆さんのロータリーライフは如何でしょうか。きっと素晴らしい人との出会いや素晴らしい事との出会いがあり「心に残るロータリー体験」ができたものと思います。心に残るロータリー体験をするということは必ずそこには感動、ときめきがあり、さらなるロータリー活動への意識高揚へ繋がっていくものと考えております。私自身は昨年行われました次年度の為の地区研修・協議会で3つのやりたいことがあると申し上げて今年度に臨みました。一つ目は全クラブ個別公式訪問をすること。二つ目はWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)を通し、①これからのロータリー活動の一つのやり方でありますファンドレージング②地区の縦割り組織に横串をさし情報の共有化とお互いの組織を知り助け合う体制づくり③公共イメージと認知度のアップを実現すること。そして三つ目は地区大会においてロータリーファミリーの認知度を上げることでした。会員皆様方の温かいご支援とご協力によりまして、目標を達成することが出来ました。また、立法案審議委員会、地区決議会合を行い RI へ立法案の提出が出来たことも深く印象に残りました。各地区委員会に出席させて頂き委員会の皆さんの活動に関する生の声を聞かせて頂き奮闘ぶりや効果を理解することが出来ました。そして他地区の地区大会 11ヶ所を訪問し他地区の人達とも交友を広めることができましたし、お互いのロータリー活動そして基盤であるその地域のことを知ることができたのも大変勉強になりました。他地区のロータリアンには WFF や地区大会を通じ第 2760 地区や、その活動内容の理解を深めて頂くことができました。私は新世代関連プログラム(財団奨学・平和フェローシップ、米山記念奨学・青少年奉仕)がロータリー奉仕活動にとって大変重要な活動の一つだと思っております。そして色々な機会を捉え新世代の人達とロータリアンの距離を縮めお互いの理解を深めることが出来、そして若者同士もまた、組織を超えた付き合いができる様に努力をしてきたつもりです。WFF を通じ米山奨学会とローターアクトの付き合いが始まったと聞きました。地区大会にもロータリーファミリーの人達が多く参加をして下さり、お互いの交流ができました。3月21日・22日には一宮ロータリークラブにホストとなって頂き RYLA セミナーを行いました。RYLA セミナーは青少年交換留学生をはじめ多種多様な若者達が集い、将来のリーダーになる為に二日間に亘って行われる大変重要な活動の一つであります。そのセミナーにおきまして、ご挨拶の他に基調講演をする機会を頂きました。基調講演では若者達に向かって、一体何を話したらいいか、また、どんな話し方をしたらいいか非常に悩みました。当日自分の趣味の話から入りまして最後には今年度 RYLA のテーマ「思いやりの心を育もう」に結びつけ終わりました。若者達が果たして私の言いたい事、そして「思いやりの心を育む」ということの意味を理解してくれたのだろうか心配でしたが、二日目の6分科会それぞれの発表会で、彼らが行った寸劇のテーマ、内容を聞きまして、私の言いたかったことを的確に理解してくれたと確信できました。その時は本当に嬉しかったです。などなど私にとりまして「心に残るロータリー体験」がいくつもでき、多くの思い出を心に刻むことが出来ました。あと2ヶ月さらに思い出を増やすべく努力をしていくつもりです。会長・幹事・会員の皆さん宜しくお願いします。

The Rotary Moment surely enhance Motivation of Rotary Activity.

## ガバナーメッセージ

### ガバナー 近藤 雄亮

皆さんこんにちは。私は2014 - 15年度地区の特別月間として7月を「ロータリー意識高揚月間」5月を「私の心に残るロータリー体験を語る月間」とさせて頂きました。思い起こせば昨年7月に、期待と不安の中でロータリー意識を高揚しつつスタートして早や10ヶ月経過しました。皆



## 環境保全週間について

地区社会奉仕委員会 環境保全担当副委員長 杉浦文雄



地区社会奉仕委員会の環境保全担当副委員長の杉浦文雄と申します。

鈴木委員長以下メンバーは 18 名、内環境保全担当メンバーは 9 名となっております。環境保全につきましてはここ 6 年ほど環境問題に詳しい委員長や、メンバーの方々がおみえになったこともあり、「生態系ネットワーク」「E S D ユネスコ世界会議」「地域環境圏」等々についてかわり、各ロータリークラブの皆様への情報提供が行われてきました。また、社会奉仕委員会全体でも各クラブの環境にかかわる社会奉仕活動状況の情報収集もされており、各クラブの環境保全にかかわる社会奉仕活動は 20 数例あり、ほぼ県内ロータリークラブの 3 分の 1 のクラブが活動してみえます。本年度委員会内におきましても愛知県や、関連機関等の環境保全に関する情報を各クラブに提供しようをテーマに活動を行っております。その中で特に「あいち生物多様性戦略 2020」の会議体に私自身がメンバーとしてその情報を提供できるようにしております。主管は愛知県環境部自然環境課で、2010 年に「いのちの共生を未来に」をテーマに生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）が愛知で開催された歴史をきっかけに策定されたものであります。この内容は、愛知県の独自の取り組み「あいち方式」としてかなり具体的なものが作られております。県民や事業者、NPO、行政といった地域の多様な主体が共通の目標のもとにコラボレーション（協働）しながら効果的な場所で生物の生息生育空間の保全、創出の取り組みを行うことにより、生物多様性への意識を高め、人と人とのつながりを育みながら生態系ネットワークの形成を進め「人と自然が共生するあいち」を実現する取り組みとされており、まさにロータリークラブに関係の深いものだと思います。

現在、これに関わる情報資料、事例等もまとめられてきたものがあり、地区社会奉仕委員会にお問い合わせいただければ、今後のロータリー社会奉仕活動、環境保全活動にお役に立てるかと思っております。





## 15-16 年度地区チーム研修セミナー報告

次期地区副幹事 加藤 唐三郎

3月8日(日) ウェスティンナゴヤキャッスルにて総勢70名のご参加を頂き、午後3時30分から地区委員会代表への地区研修セミナーが開催されました。近藤雄亮ガバナーの挨拶に始まり加藤陽一ガバナーエレクトの次年度RIテーマ・地区方針の講話、千田毅次期地区研修リーダーの挨拶と40分間余りのセミナーが行なわれました。休憩を挟み次に大竹一義次期地区幹事より次年度地区組織、地区委員会・各委員長会議の開催について、各委員会出席について・出欠案内について、ガバナー事務所について、活動費請求について、MUカードについて、地区委員会日程確認・委員会構成のお願い等の説明がされました。

続いて梶野次期会計長より地区予算案について、澤田次期地区副幹事より地区研修・協議会について、藤井次期地区副幹事より地区大会について、加藤睦彦次期地区副幹事よりガバナー月信についての報告がされました。

その後、9卓のテーブルに着席し懇親会が開催されました。8名のガバナー補佐の自己紹介が行なわれ、ガバナーエレクトの乾杯により和気あいの雰囲気の中、ガバナー、ガバナーエレクト、各委員会代表、ガバナー補佐、地区役員の親睦が図られ午後7時に無事終了しました。

名古屋ウィメンズマラソンの同日開催となり交通規制の中での思い出深いセミナーとなりました。







## 15-16 年度会長エレクト研修セミナー（PETS）報告

次期地区副幹事 加藤 唐三郎

3月14日（土）午前10時よりウェスティンナゴヤキャッスルにて、総勢135名のご参加を得、会長エレクト研修セミナーが開催されました。加藤陽一ガバナーエレクトの地区方針「ロータリーの原点に学ぶ」に基づき今回は点鐘・国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱に続き、大竹一義次期地区幹事の特別出席者紹介により83ロータリークラブ会長エレクトへの研修セミナーが始まりました。

次第は近藤雄亮ガバナー挨拶、加藤陽一ガバナーエレクトのRIテーマ・地区方針の講話、千田毅次期地区研修リーダー挨拶、大竹次期地区幹事報告がされました。

報告内容は、ガバナー公式訪問、地区組織、クラブ計画書作成、報告書提出についてRI会長賞顕彰、WFF日程等の説明がされ、休憩を挟み澤田次期地区副幹事より地区研修・協議会について、地区大会について、ホストクラブ岡崎東ロータリークラブ市川幾雄実行委員長より案内、加藤睦彦次期地区副幹事よりガバナー月信について、梶野次期会計長より地区予算案についての説明報告がされ午前の部を終了しました。詳しくは、5月10日の地区研修・協議会で配布します「地区便覧」をご参照ください。

会場を各分区に分かれて移動し、昼食を取り、分区グループ懇談会にて午後の部が始まりました。各分区グループでは各分区次期ガバナー補佐を中心としてRIテーマ・地区方針の確認、IM・分区内行事等の確認・お願い、ガバナー補佐訪問及びガバナー公式訪問日程の確認説明、クラブ計画書作成・提出書類等の報告協議が行なわれました。

午前の部が開催された会場へ戻り各分区次期ガバナー補佐より懇談内容が発表され、近藤ガバナーによる講評後、無事会長エレクト研修セミナーが終了しました。参加者皆様のご協力とガバナー補佐のスムーズな進行によりスピーディーで充実した研修となり深く感謝致します。







## 第 23 回地区 RYLA セミナーについて

地区 RYLA 委員会 委員長 谷山芳和

3月21日22日に愛知県美浜少年自然の家におきまして主管近藤ガバナー主催地区 RYLA 委員会  
でホストクラブ一宮ロータリークラブのご協力におきまして開催をいたしました。

『思いやりの心を育もう』をテーマに126名の受講生が6分科会におきましてカウンセラー・ヤング  
カウンセラーと共に終了時間まで、受講生が切磋琢磨し結論まで頑張っていました。

高校生の部では近藤ガバナーの基調講演を参考に思いやりとはからスタートして道草を食いながら  
ゆっくりではありましたが到達してくれましたし、大学生及び社会人に於いてはあまりにも深く掘り下げ  
たり、枠を広げすぎて纏める時期に迷走状況に陥るなど、それぞれが自己研鑽をしてくれておりました。

RYLA セミナーはリーダーを養成するとありますが、参加した受講生はすでにリーダーとしての素質  
は十分持ち合わせていると感じております。

そこで我々主催者としては受講生にアップグレードしていただくために毎回趣向を凝らして導くより  
気づかせる、リーダーとはを中心に置き開催いたしております。

地区内では RYLA とは何ぞやと言われることも多く聞かれますが、RYLA とは未来を背負う青少年に  
代償を求めない投資を行うことではないでしょうか。

今回、ご参加いただきました地区内ロータリアンの方々、そして1年前よりホストクラブとして地区  
RYLA 委員会を支えていただきました一宮ロータリークラブの方々青少年関連委員会の方々に感謝を  
申し上げますと共に皆様の益々のご健勝をお祈りいたしまして報告とさせていただきます。







## 東三河分区 Intercity Meeting 報告

東三河分区 ガバナー補佐 中島 忠幸

3月22日(日)に東三河分区 I. M. を豊橋のアークリッシュホテルで開催致しました。当日は地区より副幹事、スタッフはじめ歴代のパストガバナー補佐の方々をお迎えし、分区13クラブの多数のロータリアンに集まっていただき楽しい時間を過ごすことができ感謝しております。

講演には、航空評論家で元日航機長の小林宏之氏を迎え、大空から見たかけがえのない地球を大切にしようというお話を主体に語っていただき、皆、感動をもって聴いておりました。

この I. M. でさらに分区内の相互の友情、親睦が深まったと信じております。







## 東尾張分区 IM報告書

東尾張分区 ガバナー補佐 加藤 令吉

東尾張分区のIMは「歴史は未来への道標 語ろう！明日のロータリー」をメインテーマに瀬戸RCをホストクラブに来賓・特別出席者並びに参加12RCのメンバーの参加を得て開催された。第1部の式典を終えて、第2部では基調講演として歴史問題に造詣の深い井沢元彦氏を招き「歴史から見る日本の将来」と題して講演をして頂いた。内容は日本の聖徳太子の十七条の憲法から新約聖書、コーランあるいはダンテの「神曲」、シェークスピアの「ヴェニスの商人」迄を引き合いにして、今迄私達が思い過ぎて来た歴史観や教育観にまで鋭く切り込んだ大変内容のある話であった。特に日本人の知恵と技術が生み出した文明についても、その裏側に潜んでいた問題が後世に新しい問題を生み出したとか、ある意味での日本の急成長における欠点や弱点を指摘する部分も有り一同大変興味深く聴講していた。これらの延長線上に日本の教育に影響を与える言葉があった事は嬉しい事であった。又、現在世界を騒がしているISについても事細かな説明があり原点は浅くはないという事を実感した。第3部では犬山、瀬戸北、岩倉、愛知長久手の4RCの代表者によるスライドレクチャーで「地域の歴史と特色などわが街の誇り」をテーマにフォーラムを行ない、地域特性をアピールする時間が持てた。又、その内容については講師の井沢元彦氏に講評をして頂く事が出来、より効果的なものになった。第4部で次期ガバナー補佐として犬山RCの朱宮新治君が紹介されると同時に次期IMホストクラブの犬山RCを発表した。その席上、次期ガバナー補佐の朱宮新治君と犬山RCの会長 近藤齊宏君にご挨拶を頂き、第1部より第4部迄つつがなく終わることが出来、点鐘。第5部は皆様お待ちかねの懇親会。この席からは近藤雄亮ガバナーにもご臨席賜り会場に花を添えて頂いた。ガバナーのご挨拶の後は一年間随行して頂いた馬場將嘉地区副幹事の乾杯の発声で宴の幕は切られた。この宴席に講師の井沢氏も同席され大変盛り上がりあつという間に予定の時間になり和気藹々に「手に手つないで」を歌い無事閉会した。





## 西三河分区 インターシティーミーティング報告

高浜ロータリークラブ 幹事 鈴木 康博

満開の桜の中、さる4月4日衣浦グランドホテルにおいて、来賓にロータリーメンバーでもある吉岡高浜市長、近藤雄亮ガバナーをはじめとして西三河分区かかわりの特別出席者の方々お迎えして、2014年～2015年西三河分区のインターシティーミーティングを開催させていただきました。当日は天気予報に反してよい天気恵まれ、近くの公園では花見の家族づれが多く集っていました。

538名のロータリアンの参加をいただき黒田勝基ガバナー補佐の点鐘により、第一部として式典がはじまりました。

式典の後、二宮金次郎より七代目子孫として活躍されている中桐万里子氏に「二宮金次郎に学ぶ経営者の生き方」をテーマにご講演をいただき、二宮金次郎翁が説いていたことが、ロータリーの精神にいかに近いものであるかを知ることができ、参加していただいたロータリアンには今後の活動に参考になったと思います。

また、懇親会では名古屋で活躍する服部公子とベラノッテカルテットによる、ピアノ、バイオリン、フルート、ベースによる四重奏を楽しみながら、おいしいお酒をのんできました。

皆様のお帰りの際には高浜がB1グランプリに参加しているご当地グルメの“とりめし”をお土産として持ち帰っていただきました。

31名と少ないメンバーの高浜ロータリークラブとしては、皆様に少しでも喜んでいただけるようにと、精一杯設営をさせていただきました。そうした思いが少しでも皆様に通じたことと信じ報告とさせていただきます。







## 米山記念奨学生歓送会・指導教員感謝の集い

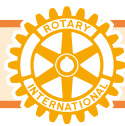
地区米山記念奨学委員長 伊藤 敦夫

2014-2015年度米山記念奨学生歓送会・指導教員感謝の集いを3月14日(土)名古屋キャスルプラザにおいて開催。地区からは近藤ガバナー始め、加藤ガバナーエレクト、中島ガバナー補佐と公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事田嶋好博様をお迎えし、大学指導教員の方々、各クラブより会長、幹事、カウンセラー、奨学生合わせて97名の参加を頂きました。歓送会つまり卒業式であります。奨学期間終了者は14ヶ国で30名が無事卒業。奨学生には終了証授与、又カウンセラーには感謝状贈呈を行いました。

この後、懇親会の中で奨学生は将来への抱負やロータリーへの感謝の気持ちなどを1分間スピーチの中で思いを語ってくれました。すでに日本の企業に就職した者、卒業後母国へ帰る者、それぞれが世界と日本、母国を結ぶ懸け橋としての活躍を期待いたします。







## 第2回地区内広報・雑誌委員長会議報告書

地区広報委員会 委員長 籠橋 美久

2015年3月26日(木)午後16時00分から名鉄グランドホテルにて、高須地区幹事、片山カウンセラー、桐漕ガバナー補佐はじめ地区内クラブ72クラブの広報・雑誌委員長が参加し、第2回地区内委員長会議を行い、今年度の広報活動の報告を行い討議することが出来ました。

会議に先立ち、高須地区幹事よりRIホームページより広報委員会の活動方法、活動指針等を入手し、広報委員会がロータリーの活動情報をロータリーアン以外の方に伝え、ロータリー全般を知って頂くことが広報委員会の活動であると思います。

これらを広報する媒体として地元新聞、雑誌、地元のCATV等による広報、又、「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」を利用した広報活動の実施が考えられます。特に今年度はWFFの推進、取りまとめ役等を当委員会が担って参りました。このイベントの実施によるさまざまな情報を各クラブに伝達出来得る様努力して頂きたいとのことでありました。

また、片山カウンセラーより広報委員会の活動としては、RI戦略計画の一つとしての「ロータリーの公共イメージ及び認知度の向上」を目的として、外向けの広報に重きを置き推進しているのが特徴であります。

今回のWFFイベントは、国内ロータリーの中で絶賛され、当地区固有の計画されたイベントでありました。これらは広報活動の目的を満たしている素晴らしい企画であるとのことであり、第3回WFF実施に向け、皆さんの協力の元で今年度と同様成功に向けて頑張りたいとのことでした。

続いて、ロータリー親善大使の司葉子さんの特別講演があり、「日本の広報の在り方について」第2ゾーン時代に実施された具体的な事例を交えた、大使独特な楽しい雰囲気の中、お話をさせて頂き今後の広報活動についての基本を勉強させて頂きました。

また、今年度の事業計画の報告を行いました。

- ① WFF(ワールド・フード+ふれ愛フェスタ)の実施をした  
11/1・2 地区ロータリーデー  
11/3 ジャパンロータリーデー
- ② クラブ内のPRを実施(クラブ広報委員長にて)の結果下記の通り  
チケット販売枚数 7,700枚 企業協賛数 123社
- ③ 地区各委員会(実行委員会メンバー)との連携強化が図れた
- ④ 地域社会への広報活動が成功裏に終了することが出来た  
入場者数6万人(推定)
- ⑤ 地区ホームページの充実化及びPRの推進  
IT委員会を通じ、各クラブへの情報伝達が充実しつつあり
- ⑥ ロータリー雑誌への投稿の推進  
ロータリーの友・ガバナー月信への掲載が出来た

最後に、次年度も「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」の開催をしますので、今年度と同様成功に向けて一丸となって活動することを誓い会議を終了することが出来ました。



高須地区幹事のご挨拶



片山全水カウンセラーのご挨拶



桐漕ガバナー補佐講演



司葉子ロータリー親善大使講演







## 国際ロータリー交換学生スキーの集い

地区青少年交換委員 山田 高行

今年も恒例となりました、「国際ロータリー交換学生スキーの集い」が開催されました。今年でなんと28回を数える歴史のあるイベントとなりました。長野と愛知で構成されていた第260地区から愛知が独立して第2760地区になってからすでに28年という歳月が経った事を意味します。それ以来、同じ地区であったという好意でこの白馬スキーオリエンテーションは続けられています。

今年は3月25日から27日の3日間素晴らしい天気のもと開催となりました。今年も大型バスを1台チャーター、第2630地区の学生や委員もバスに便乗しての大所帯の旅になりました。2760地区からは海外からのインバウンド8名、次年度派遣候補、アウトバウンド10名、派遣を終え帰国したリバウンド4名と地区委員が参加。それだけではなく、現地集合として、次期RI理事エレクトの斎藤PDGと所属クラブのPast会長孕石様、田中直前ガバナー、そして加藤ガバナーエレクト。2630地区の石垣ガバナーやこのイベントのホストをしてくださっている2600地区の中川ガバナーにも参加いただき、イベントの関心の高さがうかがわれる事となりました。

到着すると早速白馬ロータリークラブの皆さんの出迎えを受けました！見る顔見る顔、1年振りです！皆さん元気そう！歓迎挨拶も早々、開会式。第2600地区のガバナーのスピーチで開始。

さあ、いよいよ始まりです！

スキーやボードを履いたことのない学生が履いた瞬間に何もしないでもコケる学生たちを見ていると本人たちは真剣なのがわかりますがその姿、微笑まずにはいられません！白馬高校の学生さんがインストラクターでついでにいただきました。2日間でどれだけ上達するのでしょうか？

2日目の朝も学生たちは真っ白な雪と真っ青な空のゲレンデへ。前日スキーを履いているだけ転んでいた学生たちもどうやら少しは滑って、曲がって、止まれるようには上達したようです。

そうこうしながらスキーの集いも最終日になってしまいました。学生同士も親交を深め、それぞれ帰路に就くのが名残惜しいようです。閉会式、あつという間の3日間の締めくくり。閉会式後は全員で集合写真。たくさんのお見送りを受けました。見えなくなるまで手を振りあって！白馬を出発後、途中松本で松本城を見学し昼食。そしてバスは名古屋へ無事到着し解散となりました。

全て順調に行程が進み無事に終了できたことは引率の委員の皆様はじめなんといっても人手の少ない中、運営のために尽力を下さった白馬ロータリークラブの皆様あってのことです。今年も大変お世話になりました！この集いを最後に、新たに交換留学に出発や交換を終えて帰国、帰国後卒業などで新たな人生を始める学生たちが一気に集い、そしてそれぞれの次に未来を目指して行く集い。有意義な時間を過ごす羽ばたいてほしいと思います。有望で新たな活躍期待したいと思います。





## 「地区ロータリー研究会」開催のお知らせ

日時：2015年6月18日（木）15:30～

場所：名古屋国際ホテル

演題：ロータリーにおいて、変えてはならないものは何か？

講師：深川 純一氏（国際ロータリー第2680地区パストガバナー）

対象：各RC 16-17年度会長・幹事予定者 他



ハイライトよねやま 181

2015年4月13日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

### 寄付金速報 — 2014-15 年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金累計は前年同期と比べ4.3%増、約4,900万円の増加です。普通寄付金が2.5%増、特別寄付金が5.4%増となりました。今月も個人・法人からの高額寄付金、また、創立記念寄付を多くいただいたことにより、寄付累計額は先月と同様、直近6年間でトップのまま推移しています。今年度残り3カ月は、特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続き、当会事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 新奨学生オリエンテーションがスタート

2015学年度の奨学生は730人となりました。国・地域別では中国が39.7%、次いで韓国が14.4%、ベトナム11.1%、台湾4.8%の順となっています。中国・韓国籍の割合が3年連続で減少しており、両国の来日留学生数そのものが減少しているだけでなく、地区選考委員会が国・地域の偏りに配慮して選考していることが伺えます。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金689人（学部課程：257人、修士課程：253人、博士課程：179人）、地区奨励奨学金14人、クラブ支援奨学金8人、海外学友会推薦奨学金5人、海外自由応募奨学金14人となっています。

4月～5月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。米山奨学生としての義務やこの事業の意義を理解してもらい、確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。また、オリエンテーションでは学友会メンバーも受付や学友会の説明に活躍しています。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。



# 私の心に残るロータリー体験

## 「心に残るロータリー体験」 カンボジア支援

名古屋丸の内ロータリークラブ 藤田 守彦

私が初めてカンボジアを訪れたのは10年前になります。目的は当クラブの支援先である、カンポット州チュパアンポウ村への医療、小中学校支援に向かう為でした。最初は物見遊山のつもりでしたが、思わぬカンボジアの首都プノンペンから3時間の移動は大変でした。日本の様な立派な舗装道もなく、一部未舗装の道もありました。さらに現地に到着をして驚きました。多くの生徒さん達は「ゴムぞうり」を履いて、一部裸足の生徒さんも居ました。制服は中国から古着を使用している状況です。更には雨漏りのする教室。しかし生徒さん達の目は輝いていました。「僕は勉強して国の為になりたい」「私は先生になりたい」「僕は医者になりたい」その時に思ったのは継続して支援して行く事が生徒さん達の「夢」をかなえてあげられる。その後、10年余り「診療所」「職員室」の建設、800名の生徒さんへの文具支援を続けて来ました。私も毎年訪れて変化を感じつつ、この先も訪問を続けたいと思っています。物見遊山のつもりが「心に残るロータリー体験」に変わっていました事を嬉しく思っています。

## 心に残るロータリー体験

名古屋名北ロータリークラブ 横田 徳久

2014年11月12日～16日の日程で、2760地区国際奉仕委員9名で、①タイの北部チェンマイとウトラジットの学校の運動施設、②台湾3500地区桃園西門RCのグローバル補助金事業、の視察等国際奉仕事業をしてきました。①は、日タイ愛知奨学生基金によるもので、1994年に2760地区より1000万円、タイ3360地区より600万円、計1600万円の運転資金の利息で、タイ北部の恵まれない子供達70人に19年間支給してきましたが、金利の低下で、昨年中止し、残金の一部350万円ずつを2つの学校の運動施設の建設に充て、その視察です。②は、桃園西門RCによる台湾東部の花蓮の身障者及び母子家庭の女性の自立支援事業です。今回の活動に参加して、多くの子供達、現地の人々やロータリアンに出会い、笑顔と感謝を戴き、見るもの全てが感動でした。仲間の方々は異口同音に“多くの人々の喜びが自分の喜び”と言われます。こうした事業がもっと世界に広がる事を願います。

## 米山奨学生デバコタくん、徳俵いっばいの博士号

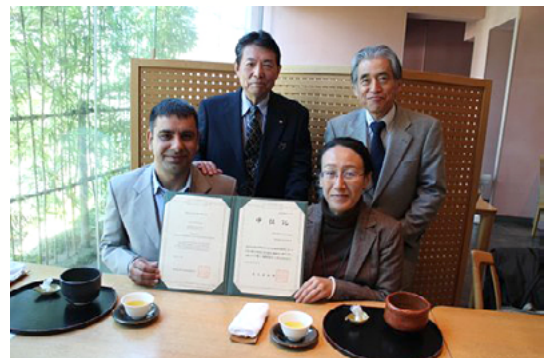
名古屋和合ロータリークラブ 鷲塚 貞長

積尊生誕の地ネパールより、米山記念奨学生として迎えた、デバコタ君の留学目的は、名古屋大学で、経済学博士の学位を取得することでした。

私の会長年度中に、目的貫徹の予定でしたが、次年度にまたがってなお、朗報が入らず、今年4月を過ぎると、目的は期限切れで、青雲の志は水泡に帰ることが判明しました。

語学障壁なども考えられるので、私の年度の、クラブ米山委員長川畑氏同道で、大学をお訪ねし、あらかじめ学部図書館で、最近の経済学博士の学位論文を数編涉猟のうえ、直接審査にかかわる教授たちと面談、障壁となっていた、チャプター5の、今後の取り組みに関し、本人をまじえ、その具体的対応のご指導を頂きました。

この度、期限ぎりぎり、徳俵いっばいで、目出度く学位記取得の運びとなり、帰国後のデバコタ君は、大学人として活躍が約束されています。





# 私の心に残るロータリー体験

地区青少年交換委員／元地区国際奉仕委員長／高浜ロータリークラブ 黒田 勝基

## 心に残るロータリー体験 その1

ロータリークラブに入り5年ほどたち、クラブ国際奉仕委員長に任命されました。私のクラブは青少年交換が活発で、その年度で所属クラブが送出した学生が、当地区でブラジル交換の最初の子でした。それ以来、青少年交換に携わっています。2005年8月にドイツから名古屋和合RCへ高校の女の子が交換学生としてやってきました。1年間の交換を経て、無事帰国しましたが、しばらくして私のところにドイツからメールが届いたのです…。『私のこと覚えていますか?』と。日本が大好きになって、日本の事もっと勉強したくって、インターシップでどこか企業が受け入れてくれませんか?と。早速私はその希望にこたえるために、ロータリアンに相談し、和合RCの方が快く引き受けていただけました。それ以降、毎年のようにその女の子が日本に、しかも私の家に帰ってきます。私は、本当の子供、しかもドイツの子が一人増えました。そして、彼女が結婚する時は、本当のわが子のように、涙せずにはいられないでしょう。ロータリーは、心から愛するいろいろな国の子供をたくさん増やしてくれます。



## 心に残るロータリー体験 その2

2009年7月、地区国際奉仕委員長に就任した私は、以前より地区で活発に展開していたWCS事業の成果確認のために、ラオスに向かいました。ラオスに学校と教育教材などを届けるというものです。地区ガバナー、パストガバナーもそのWCS事業に参加され、ロータリーの奉仕とは、国際奉仕、青少年奉仕が重要な要素として展開しているのだということを再認識しました。我々ロータリアンが浄財を出し、奉仕を必要としている地域、子供たちのために汗を流すというものです。タイ、チェンマイで奨学基金からの奨学金を子供たちに手渡し、その後ラオスに飛び、ホテルから4時間もガタガタ道を走り、やっと着いた村での学校の授与式と、引き続いて、近隣村を挙げての心からの歓待。真新しい学校と教材を目の前にして、キラキラと輝いた子供たちの瞳は今でも忘れられません。やがて、その子供たちが大きくなって、次の奉仕を受け継いでくれることを願っています。



## 心に残るロータリー体験 その3

私の父は碧南RCのチャーターメンバーで、私が幼い頃よくロータリーの家族例会に連れていってくれたことを覚えています。私の憧れは、いつかロータリーに入ることでした。そして1992年6月、私は高浜RCに入会しました。

入会時のオリエンテーションでも、『君はあの黒田の息子か?』とよく言われました。やがて、私は地区の委員会に向向し、高浜RC以外の多くのクラブへ行く機会ができ、多くの先輩たちに出会う場面が増えてきました。いろいろなクラブで、同じように『君はあの黒田の息子か?』と聞かれることも多く、予想もしていなかったつながりを感じ始めています。もし、ロータリーに入会しなければ、限られた業界の中での人付き合いに終わっていたのではと、今では感じています。さらに、いろいろな奉仕を通じて、他地区の地区大会、国際大会を経験し私のロータリーライフも充実していくことと思います。ロータリーは世界を狭く密にし、また強いきずなを感じさせる組織だと実感するこの頃です。





## 名古屋東山ロータリークラブ

開催日：2015年3月16日（月）

報告：会長 渡邊 万里

### 名古屋東山ロータリークラブRCC 愛知池友の会 主催 「助け合い 桜まつり」

2015年3月26日、愛知池畔の喫茶『カーデン』にて「助け合い桜まつり」が開催されました。愛知池遊歩道の桜は未だ1～2分咲きでしたが、今年で三度目のこの会を参加者が思い思いに楽しむ事ができたことを喜んでます。

「助け合い桜まつり」は、名古屋東山RCのRCC〈愛知池友の会〉・〈AJU車いすセンター〉が、お互い支え合うということから始まりました。

当クラブが5周年記念事業として植樹した愛知池遊歩道の桜並木の保全・管理を、〈愛知池友の会〉さんが担って下さったのが、そもそものご縁の始まりです。そこに、またご縁があって支援させていただいた〈AJU車いすセンター〉さんが加わり、愛知池友の会の積極的な活動の一端を支援する、といった形で、三年前に第1回の「桜まつり」が開催されました。

近頃流行の「おもてなし」からすれば、主催の〈愛知池友の会〉、協賛として当クラブおよび〈AJU車いすセンター〉、開催場所の『カーデン』などが、ご参加の方々をもてなしているように見えたかもしれませんが、茶人の千利休が客人をもてなす心に「いかにも互いの心にかなうはよし、かないたがるは悪し」と言ったように、自利・利他、水を汲み、薪をくべ、お茶をたてて客人に勧め、また自分もそれを楽しむのが自然の付き合いといえるでしょう。「サービス」は一方的だが、「もてなし」は双方向だということです。お互いに気を遣って、しかも、それがお互いの負担にならないという呼吸、間の取り方は難しいものですが、奉仕活動、が精神的には決して一方向ではないということの隅に留めておきたいものです。

名古屋東山RCが、今後も奉仕の理想を实践するうちに、この双方向の「もてなし」の精神を忘れないようにしたいと考えております。そこで、名古屋東山RCとしては、“他人の心と自分の心をいたわり合う”という心掛けを忘れないよう、「助け合い桜まつり」を本年度のロータリーデーとすることにいたしました。

今回の「助け合い桜まつり」には100名近い方が参加、歌や演奏、体操など、5つの演目それぞれに楽しんでいただき、地域のボランティアの方々と、RCCメンバーそれぞれが互いに奉仕し合うことが出来たことをご報告いたします。





# 木曾御嶽噴火災害へのご協力をお願い

同期ガバナーの中川博司さんより、以下のお願いの文章が来ましたので、月信に掲載させていただきます。

ガバナー 近藤 雄亮

国際ロータリー

地区ガバナー 殿

## 木曾御嶽噴火災害へのご協力をお願い

拝啓

皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのことと拝察致します。

さて当 2600 地区では、今期は南木曾での土砂流出、木曾御嶽山噴火、長野北部地震と三度の自然災害に見舞われました。いずれの地域も次第に日常を取り戻しつつありますが、地元の観光産業への長期的影響や風評被害が懸念されています。

木曾御嶽はすでに活動も弱まっており、スキー場、ゴルフ場、温泉などを含む周辺の観光地は以前どおり営業を再開しておりますが、以前の活気を取り戻すにはまだまだ相当の時間が必要です。そこで 2600 地区では、クラブの例会や会合、ゴルフコンペなどをできる限りこうした被災地に出向き、間接的な支援を行おうと実施されつつあります。近隣地区を除けば、遠方からお越しいただくのは大変ですが、全国のガバナーの方々にも同様の支援をお願い致したく、是非、月信等の記事として地域ロータリアンにお働きかけをしていただければ誠に幸いと思う次第です。

なお、本件に関するお問い合わせは 2600 地区ガバナー事務所に、さらにご検討の際には、当該地区の木曾ロータリークラブがご案内、予約など便宜を図らせていただきますのでどうぞご活用ください。

敬具

2015 年 3 月 19 日

国際ロータリー第 2600 地区

ガバナー 中川 博司

お問い合わせ先

木曾ロータリークラブ

Tel : 0264-52-4812

E-mail : kiso.r.c@yama-in.co.jp

中川博司ガバナー事務所

Tel : 0265-73-2600

E-mail : nakagawa-g@triton.ocn.ne.jp



# ロータリーコーディネーター ニュース

- 5 月号 -

## 私なりにまとめた RI 戦略計画とその実行

公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC) RID2570 鈴木秀憲 (吹上 RC)



2001-02 年度、国際ロータリーは奉仕の第 2 世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。「The RI Strategic Plan」当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。(Strategic Plan の直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気がします)

2009 年、RI 理事会はこの大幅な見直しを行い、RI とロータリー財団が進むべき進路が一致するよう改訂し 2010 年 7 月 1 日から有効としています。

2015 年 3 月 30・31 日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話 (RI 戦略項目の 3 つの項目は夫々関連性を持っている) に自分の考えを加えてまとめました。

### **RI 戦略計画は、3 つの優先項目と 5 つの中核的価値観で構成されます。**

#### 3 つの優先項目

- クラブのサポートと強化 (ロータリーコーディネーターが支援)
- 人道的奉仕の重点化と増加 (ロータリー財団地域コーディネーターが支援)
- 公共イメージと認知度の向上 (公共イメージコーディネーターが支援)

注目すべき点は、3 つの項目は夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば (結果として、世間の関心と評価は高まり) 自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると (賛同者が増え、会員増強に繋がり) クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば (会員が増強されれば) 人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増えクラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。

この循環は、優先項目の何処から始めても (結果として) 良い循環になります。

大切な事は、先ず自ら始めるという事だと思います。

3 つの優先項目には、具体的な目標が全部で 16 項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

## 先ずは自分自身が公共イメージの向上を

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。

我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している5つの中核的価値観を、ロータリアン個々が大切に磨き実行する事であると思います。

○奉仕 私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。

○親睦 ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。

○多様性 私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。

○高潔性 ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものではなく、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。

○指導力 ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。

## 最後に会員増強について一言

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。

しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

○ロータリーに入会すると

- ・素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
- ・自分や職業を高める機会を得られます。
- ・自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
- ・世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。

こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。



## 文庫通信 -331-

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ■ ロータリー情報抜粋

- ◎ 「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会活動報告」 黒田正宏編集 2014 47p
- ◎ 「街を流された方々を診て…」 畑山 徹 [2013] 4p (D.2830 地区大会記録誌)
- ◎ 「ロータリアンとは その1～3」 深川純一 伊丹 R.C. 2014 3p (純ちゃんのコーナー PartX III )
- ◎ 「ロータリーを輝かせる為には」 朱 秋龍 2015 10p (D.2710 地区大会特集号)
- ◎ 「国際ロータリーにおける中央集権と地方分権」 直木太一郎 1971 3p
- ◎ 「『職業奉仕』は菩薩の両願」 塚原房樹 2015 1p (D.2510 月信)
- ◎ 「そして賽は投げられた」 久野 薫 2015 1p (D.2680 月信)
- ◎ 「『職業奉仕』の10分スピーチ」 新藤信之 2014 2p
- ◎ 「職業奉仕の森」 鈴木一作 —— 13p
- ◎ 「ロータリーの倫理的行動指針の変換」 柿沼利明 2012 1p (古河東 R.C. 週報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

< ロータリー文庫 >

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F  
TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

### ● 2014-2015年度 ガバナー月信 個人配信 登録方法 ●

#### 第2760地区ホームページより、随時受付中！

<ホームページアドレス> <http://www.rotary2760.org/>

- ① 第2760地区のホームページを開き、上部メニューのガバナー情報→ガバナー月信をクリックします。
- ② メルマガ登録という部分に、自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックすれば登録完了となります。登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

メルマガ登録	
メールアドレス	<input type="text"/>
ス	<input type="text"/>
(確認用)	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません

## 会員数及び出席報告（平成 27 年 3 月末）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	3 月 出席率
		2014 年 7 月 1 日	2014 年 7/1 女性	2015 年 3 月末日		3 月	累計	3 月	累計		
南尾張分区	半田	62	4	65	4	0	5	0	2	3	99.37%
	常滑	39	0	37	0	0	0	0	2	4	95.52%
	東海	53	2	58	3	1	6	0	1	4	97.84%
	東知多	19	1	21	1	1	3	1	1	4	81.44%
	半田南	38	1	36	1	0	0	0	2	4	99.26%
	知多	27	3	27	3	0	3	1	3	5	71.60%
	大府	16	0	16	0	0	0	0	0	4	66.31%
	7RC	254	11	260	12	2	17	2	11		87.33%
西尾張分区	一宮	89	1	92	1	1	6	0	3	4	97.47%
	津島	63	4	67	4	0	4	0	0	3	99.48%
	尾西	20	1	19	1	0	0	1	1	4	95.00%
	一宮北	38	2	37	2	0	0	0	1	3	94.16%
	稲沢	55	1	53	1	1	2	1	4	3	93.48%
	あま	79	2	78	2	0	1	1	2	4	100.00%
	名古屋清須	28	1	31	2	0	3	0	0	4	93.52%
	尾張中央	30	0	33	0	0	3	0	0	4	88.78%
	一宮中央	42	6	43	6	0	1	0	0	4	94.77%
	9RC	444	18	453	19	2	20	3	11		95.18%
東尾張分区	瀬戸	64	6	63	6	0	2	0	3	3	99.44%
	犬山	59	0	60	0	0	2	0	1	4	100.00%
	江南	49	0	48	0	0	0	0	1	4	98.78%
	小牧	30	2	29	2	0	0	0	1	3	91.22%
	春日井	56	2	58	2	0	5	1	3	4	96.61%
	尾張旭	25	1	24	1	0	0	0	1	4	95.83%
	名古屋空港	54	1	49	1	0	1	0	6	4	98.96%
	瀬戸北	66	7	66	6	0	1	0	1	4	100.00%
	岩倉	15	1	14	1	0	0	0	1	4	100.00%
	名古屋城北	31	5	30	5	0	1	0	2	4	94.35%
	愛知長久手	20	5	19	4	0	0	1	1	5	95.79%
	愛知-刈-Eクラブ	22	7	20	5	0	1	0	3	5	100.00%
	12RC	491	37	480	33	0	13	2	24		97.58%
	西名古屋分区	名古屋	182	0	180	0	1	10	8	12	5
名古屋西		96	0	99	0	0	9	5	6	4	85.01%
名古屋南		119	0	120	0	0	5	2	4	3	94.54%
名古屋みなと		71	0	70	0	0	0	0	1	4	100.00%
名古屋東南		77	6	80	6	0	6	1	3	4	90.99%
名古屋中		130	0	134	0	1	7	1	3	5	98.15%
名古屋瑞穂		63	0	62	0	0	0	1	1	4	97.67%
名古屋大須		57	5	58	5	0	3	0	2	4	85.98%
名古屋栄		82	0	87	0	0	5	0	0	4	95.81%
名古屋名南		54	8	54	9	1	3	1	3	4	89.78%
名古屋名駅		80	6	81	6	0	7	2	6	3	99.57%
名古屋丸の内		44	7	53	8	0	9	0	0	4	95.96%
中部名古屋みらい		22	7	22	7	0	0	0	0	4	39.77%
13RC		1,077	39	1,100	41	3	64	21	41		89.08%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	3 月 出席率	
		2014 年 7 月 1 日	2014 年 7/1 女性	2015 年 3 月末日		3 月	累計	3 月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	91	0	94	0	1	6	0	3	4	97.89%	
	名古屋東	87	0	88	0	0	2	0	1	4	89.49%	
	名古屋守山	39	3	41	3	1	5	0	3	4	90.46%	
	名古屋和合	104	0	102	0	0	0	0	2	4	80.58%	
	名古屋名東	59	7	65	9	2	8	0	2	5	93.20%	
	名古屋名北	38	5	39	5	0	1	0	0	4	98.51%	
	名古屋千種	41	3	39	3	0	0	1	2	5	92.53%	
	名古屋昭和	51	2	54	2	0	3	0	0	5	97.87%	
	名古屋錦	29	9	28	9	0	0	0	1	5	91.16%	
	名古屋東山	31	4	32	7	0	4	2	3	4	94.67%	
	名古屋葵	19	0	20	0	0	2	0	1	4	60.00%	
	名古屋アイリス	33	12	34	13	1	3	0	2	4	83.09%	
	12RC	622	45	636	51	5	34	3	20		89.67%	
	東三河分区	豊橋	116	3	115	3	0	3	1	4	4	94.59%
		蒲郡	56	0	54	0	0	1	1	3	4	90.85%
豊橋北		73	4	72	4	0	1	1	2	4	97.25%	
豊川		71	1	71	1	0	2	0	2	4	96.16%	
田原		43	1	43	1	0	2	0	2	4	97.55%	
豊橋南		56	0	57	0	1	2	0	1	5	98.75%	
新城		43	2	43	2	0	0	0	0	4	91.93%	
渥美		33	0	33	0	0	2	0	2	4	100.00%	
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	4	89.29%	
豊川宝飯		54	2	59	2	0	6	0	1	5	91.35%	
豊橋ゴールデン		64	2	67	2	0	3	0	0	4	97.47%	
田原バシフィック		48	1	50	1	0	2	0	0	4	80.19%	
豊橋東		42	0	42	0	0	1	0	1	4	90.48%	
13RC		714	19	721	19	1	25	3	18		93.53%	
西三河分区		岡崎	77	3	84	3	0	10	2	3	4	100.00%
	豊田	93	0	99	0	4	7	0	1	4	98.63%	
	岡崎南	95	2	95	2	0	2	0	2	4	99.44%	
	豊田西	95	1	97	0	1	6	0	4	4	100.00%	
	岡崎東	57	1	58	1	0	3	0	2	3	98.18%	
	豊田東	77	0	77	0	0	1	1	1	3	94.86%	
	岡崎城南	74	0	73	0	0	1	1	2	5	94.78%	
	豊田三好	19	0	21	0	1	3	0	1	4	95.50%	
	豊田中	40	6	40	5	0	3	0	3	3	100.00%	
	9RC	627	13	644	11	6	36	4	19		97.93%	
西三河分区	刈谷	94	4	92	4	0	3	2	5	3	100.00%	
	安城	61	4	61	4	0	1	0	1	4	97.86%	
	西尾	77	1	80	1	1	5	0	2	5	98.24%	
	碧南	68	3	68	3	1	4	0	4	4	100.00%	
	西尾一色	25	0	26	0	0	2	0	1	4	100.00%	
	高浜	33	2	31	2	1	2	0	4	5	100.00%	
	知立	61	0	60	0	0	1	0	2	4	100.00%	
	西尾KIRARA	58	0	57	0	0	0	0	1	4	100.00%	
	三河安城	64	6	64	6	0	0	0	0	4	98.00%	
9RC	541	20	539	20	3	18	2	20		99.34%		

	クラブ	平均
平均出席率	84	93.71%

地区内クラブ数 84 R C	2014 年 7 月 1 日会員数	4,770 名	内女性 202 名	増加会員数（累計）	227 名
	2015 年 3 月末会員数	4,833 名	内女性 206 名	減少会員数（累計）	164 名
	当月平均出席率	93.71%		差引純増会員数（累計）	63 名

3 月	入会	退会	純増
	22 名	40 名	-18 名



